

国

語

(60分)

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かず、
左記の注意事項をよく読むこと。

注意事項

- 1、問題冊子は、17ページまであります。
- 2、解答用紙は問題冊子の中央にはさんでいます。解答はすべて、解答用紙に書き込みなさい。
- 3、始め、の合図でページ数を確認し、受験番号・名前を書きなさい。
- 4、問題の内容についての質問には、いっさい応じません。印刷のはっきりしないところがあれば、静かに手をあげなさい。
- 5、時間を知りたいときも、静かに手をあげなさい。
- 6、具合が悪くなったり、トイレに行きたいときは、手をあげて、監督の先生の指示に従って行動しなさい。
- 7、問題冊子は、各自持ち帰ってよろしい。

問題は次のページから始まります

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(なお字数制限のある問いは句読点や記号も一字に含みます)

日本語には、触覚に関する二つの動詞があります。

(1) さわる

(2) ふれる

英語にするとどちらも「touch (タッチ)」ですが、それぞれ微妙にニュアンスが異なっています。

場面を考えてみましょう。傷口に「さわる」というと、何だか痛そうな感じがします。さわってほしくなくて、思わず患部を引っ込めたくなる。

B、「ふれる」だどうでしょうか。傷口に「ふれる」というと、状態をみたり、薬をつけたり、さすったり、そつと手当てをしてもらえそうなイメージを持ちます。痛いかもしれないけどちよつと我慢してみようかなという気になる。虫や動物を前にした場合はどうでしょうか。「怖くてさわれない」とは言いますが、「怖くてふれられない」とは言いません。①物に対する触覚も同じです。スライムや布地の質感を確かめてほしいとき、私たちは「さわってごらん」と言うのであって、「ふれてごらん」とは言いません。

不可解なのは、気体の場合です。部屋の中の目に見えない空気を、「さわる」ことは基本的にできません。C窓をあけて空気を入れ替えると、冷たい外の空気に「ふれる」ことはできるのです。

抽象的な触覚もあります。会議などで特定の話題に言及することは「ふれる」ですが、すべてを話すわけではない場合には、「さわりだけ」になります。D怒りの感情はどうでしょう。「Xにふれる」というと怒りを爆発させるイ

メッセージがありますが、「Y」にさわる」というと必ずしも怒りを外に出さず、イライラと腹立たしく思っている状態を指します。

つまり私たちは、「さわる」と「ふれる」という二つの触覚に関する動詞を、状況に応じて、無意識に使い分けているのです。もちろん曖昧な部分もたくさんあります。「さわる」と「ふれる」の両方が使える場合もあるでしょう。けれども、そこに私たちは微妙な意味の違いを感じとっている。同じ触覚なのに、いくつもの種類があるのです。

哲学の立場からこの違いに注目したのが、*坂部恵さかべ めぐみです。坂部は、その違いをこんなふう論じています。

一言でいえば、ふれるという体験にある *相互そうご嵌入かんにゅうの *契機けいき、ふれることは直ちにふれ合うことに通じるといふ相互性の契機、あるいはまたふれるということが、いわば自己を越えてあふれ出て、他者のいのちにふれ合い、参入するという契機が、さわるということの場合には抜け落ちて、ここでは内―外、自―他、受動―能動、一言でいってさわるものとさわられるものの区別がはっきりしてくるのである。

「(I)」が相互的であるのに対し、「(II)」は一方的である。ひとことでは、これが坂部の主張です。

言い換えれば、「(III)」は人間的なかわり、「(IV)」は物的なかわり、ということになるでしょう。そこにいのちをいつくしむような人間的なかわりがある場合には、それは「(V)」であり、おのずと「ふれ合い」に通じていきます。逆に、物としての特徴や性質を確認したり、味わったりするときには、そこには相互性は生まれず、ただの「(VI)」にとどまります。

重要なのは、相手が人間だからといって、必ずしもかわりが人間的であるとは限らない、ということ②です。傷口に「さわる」のが痛そうなのは、それが一方的で、さわられる側の心情を無視しているように感じられるからです。そこには「ふ

れる」のような相互性、つまり相手の痛みをおもんばかるような配慮はいりよはありません。

③ もつとも、人間の体を「さわる」こと、つまり物のように扱あつかうことが、必ずしも「悪」とも限りません。たとえば医師が患者かんじゃの体を触診しよくしんする場合。お腹なかの張り具合を調べたり、しこりの状態を確認したりする場合には、「さわる」と言うほうが自然です。触診は、医師の専門的な知識を前提とした触覚です。ある意味で、医師は患者の体を科学の対象として見ている。この態度表明が「さわる」であると考えられます。

④ 同じように、相手が人間でないからといって、必ずしもかわりが非人間的であるとは限りません。物であったとしても、それが一点物のうつつで、作り手に思いを馳はせながら、あるいは壊こわれないように気をつけながら、いつくしむようにかわるのは「ふれる」です。では「外の空気にふれる」はどうでしょう。対象が気体である場合には、ふれようとするこちらの意志だけでなく、実際に流れ込んでくるという気体側のアプローチが必要です。この出会いの相互性が「ふれる」という言葉の使用を引き寄せていると考えられます。

人間を物のように「さわる」こともできるし、物に人間のように「ふれる」こともできる。このことが示しているのは、「ふれる」は容易に「さわる」に転じうるし、逆に「さわる」のつもりだったものが「ふれる」になることもある、ということです。

相手が人間である場合には、この違いは非常に大きな意味を持ちます。たとえば、障害や病気とともに生きる人、あるいはお年寄りの体にかかわるとき。冒頭まうとうに出した傷に「ふれる」はよいが「さわる」は痛い、という例は一般的いつぱんてきな言い方をすれば「ケアとは何か」という問題に直結します。

⑤ ケアの場面で、「ふれて」ほしいときに「さわら」れたら、勝手に自分の領域に入られたような暴力性を感じるでしょう。逆に触診のように「さわる」が想定される場面で過剰かじょうに「ふれる」が入ってきたら、その感情的な湿度しつどのようなものに不快感を覚えるかもしれません。ケアの場面において、「ふれる」と「さわる」を混同することは、相手に大きな苦痛を

与^{あた}えることになりかねないのです。

あらためて気づかされるのは、私たちがいかに、接^{せつ}触^{しよく}面^{めん}のほんのわずかな力加減、波打ち、リズム等のうちに、相手
自分に対する「態度」を読み取っているか、ということ。相手は自分のことをどう思っているのか。あるいは、どう
しようとしているのか。「さわる」「ふれる」はあくまで入り口であって、そこから「つかむ」「なでる」「ひっぱる」「もち
あげる」など、さまざまな接触的動作に移行することもあるでしょう。こうしたことすべてをひっくるめて、接^{せつ}触^{しよく}面^{めん}には
「人間関係」があります。

この接^{せつ}触^{しよく}面^{めん}の人間関係は、ケアの場面はもちろんのこと、子育て、教育、性愛、スポーツ、*看^み取^とりなど、人生の重要
な局面で、私たちが出会うことになる人間関係です。そこで経験する人間関係、つまりさわり方／ふれ方は、その人の幸
福感にダイレクトに影響^{えいさきやう}を与えるでしょう。

(伊^い藤^{とう}亜^あ紗^さ 『手^ての倫^{りん}理^り』による)

(注)

- *坂部恵……哲^{てつ}学^{がく}者^{しゃ}。一九三六～二〇〇九。
- *相互^{さうご}嵌^{かみ}入^{いり}……互^{たがひ}いにはまり込むこと。
- *契^{けい}機^き……ここでは、不可^{ふか}欠^{けつ}な要^{よう}素^その意。
- *看^{かん}取^とり……死^し期^きまで見^み守^{まも}り看^{かん}病^{びやう}すること。

問1 A D にあてはまることばとして最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ただし、同じ記号を二回以上選んではいけません。

- ア あるいは イ だから ウ では エ ところが オ たとえば

問2 傍線部①「物に対する触覚も同じです」とはどういうことですか、その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

つ選び、記号で答えなさい。

ア 虫や動物をtouchするときとスライムや布地をtouchするときの日本語の表現には違いがあるということ。

イ 日本語のすべての言葉は「さわる」「ふれる」のどちらか一方にしかくつつかない規則があるということ。

ウ 「さわる」も「ふれる」も似た言葉だが、どちらか一方でしか表現できない場合や対象があるということ。

エ 人が虫や動物に対して感じる質感とスライムや布地に対して感じる質感はほとんど同じであるということ。

オ 「さわる」と「ふれる」はどちらも「触覚」を表現する言葉として同じような意味をもつということ。

問3 X・Y にあてはまることばとして最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 核心かくしん イ 琴線きんせん ウ 神経 エ 逆鱗げかりん オ 腫れはもの

問4 (I)～(VI)には、「さわる」「ふれる」のいずれかが入ります。その組み合わせとして最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|---|-----|----|-----|
| ア | I | ふれる | II | さわる | III | ふれる | IV | さわる | V | ふれる | VI | さわる |
| イ | I | さわる | II | ふれる | III | さわる | IV | ふれる | V | さわる | VI | ふれる |
| ウ | I | さわる | II | ふれる | III | ふれる | IV | さわる | V | ふれる | VI | さわる |
| エ | I | ふれる | II | さわる | III | さわる | IV | ふれる | V | ふれる | VI | さわる |
| オ | I | ふれる | II | さわる | III | ふれる | IV | さわる | V | さわる | VI | ふれる |

問5 傍線部②「かわりが人間的である」とはどういうことですか、本文中の言葉を使って三十字以内で説明しなさい。

問6 傍線部③「人間の体を『さわる』こと、つまり物のように扱うことが、必ずしも『悪』とも限りません」とありますが、その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 医療の素人である患者の考えにとらわれすぎると、専門家としての判断ができないから。
- イ 医師はあえて患者の痛みを引き出すことによって、正しい診断をすることができるから。
- ウ 患者の訴えに応じて触診することで、相手の心情に配慮する態度を示すことになるから。
- エ 患者の体の状態を確認するため、医師という立場で客観的に見ていることがわかるから。
- オ 患者の人間性によって区別することなく、平等に医療行為を行わなければならないから。

問7 傍線部④「同じように」とはどういうことですか、その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「さわる」と「ふれる」という二つの動詞を、状況に応じて使い分けているのと同じように、ということ。
イ いのちをいつくしむような人間的なかわりがある場合には、「ふれる」であるのと同じように、ということ。
ウ 相手が人間だからといって、必ずしもかわりが人間的であるとは限らないのと同じように、ということ。
エ 人間の体を物のように扱うことが、必ずしも「悪」とも限らないのと同じように、ということ。
オ 医師は患者の体を科学の対象として見ていて、その態度表明が「さわる」であるのと同じように、ということ。

問8 傍線部⑤「勝手に自分の領域に入られたような暴力性を感じるでしょう」とありますが、その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分は嫌われているのではないかと疑ってしまうほど、攻撃的な接触の仕方だから。
イ 淡々と接してもらえらると思っていたのに、べたべたとしつこく迫ってくるから。
ウ ふだんは距離をおいている相手であっても、ケアの際には予想外に近づかれるから。
エ なれなれしい態度をとって、人に知られたくない秘密にまで踏み込んでくるから。
オ 相互的な関わり合いを持って接してほしいときに、一方的な扱いを受けるから。

問9 傍線部⑥「接触面には『人間関係』があります」とありますが、なぜ「接触面」と「人間関係」が結びつくのですか。その理由を五十字以内で説明しなさい。

二 どちら焼き店の店長である千太郎は、吉井徳江という高齢の女性を雇った。これに続く次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(なお字数制限のある問いは句読点や記号も一字に含みます)

グループではあまり来ない子のなかに、ワカナちゃんとあだ名で呼ばれる中学生がいた。本人はその名の由来を語らなかったが、他の中学生たちの話によれば髪型がアニメのサザエさんに登場するワカメちゃんに似た時期があったらしい。

ワカナちゃんは言葉数の少ない子だった。どちら焼きを食べながら、潤んだ目で厨房をじっと見る。どこを見ているかわからないその視線が気になり、珍しく千太郎の方から「どうした？」と声をかけることもあった。

千太郎に問われても、ワカナちゃんはいつも黙っていた。生活にゆとりがないことなどを自ら話したのは、徳江が変わり種のどちら焼きを彼女に差し出すようになってからだった。

ワカナちゃんに限らず、徳江は時折この変わり種をこしらえた。千太郎が焼きそこなった生地で、あんやクリームを挟んだものだ。打ち解けて話す中高生がくると、徳江はこれを「サービスよ」と言ってみて与えた。

① 千太郎はいい気がしなかった。それとなく言ってみても、徳江は「いいじゃないの。捨てるよりはましでしょ」と受け付けない。

ワカナちゃんは「こっちの方がおいしい」と、変わり種への賛辞を口にした。徳江は気を良くして、さらに蜂蜜を塗りたりする。

② ワカナちゃんが徳江にとうとうそれを言ってしまった日も、変わり種をひとつ平らげたあとだった。「あの……徳江さんのその指は、どうしたんですか？」

千太郎が振り返ると、椅子に座った徳江が指を隠すように手を重ねたところだった。「これね、私、指が曲がったままになっちゃったのね。若い頃に病気をして」

「どんな病気？」

徳江の表情が固まったように千太郎には見えた。

「つらい病気だったのよ」

徳江はそれだけを答えた。ふーん、とうなずき、ワカナちゃんもそれ以上のことを訊こうとはしなかった。間がもたなくなっただけ、ワカナちゃんはどら焼きの残りにかじりつき、無言であごを動かした。④その咀嚼の音だけが、徳江とワカナちゃんの間を行ったり来たりしているように千太郎には感じられた。

ワカナちゃんはその日以来、顔を見せなくなった。

⑤洗い物をしながら、徳江は客の中高生たちのことをよく話した。

誰々は最近ようやく笑うようになった。⑥おうちの状況がよくなったのかね。誰々は失恋をしたらしい。仲間たちが慰めていたのを見たよ。時代が変わっても、ああいう時の言葉は同じなのね。そういえば誰々が最新式の携帯電話を見せてくれた。あれは店長もきつと知らないでしょ。ああいうものを手にして、これからの子供たちは生きていくのね。どんな時代になるんだろうね。

そうしたなかで、徳江がワカナちゃんについて触れることもあった。「あの子は最近こないね」と言う。鉄板の焦げを取っていた千太郎は、「あの失礼な子ですか」とつい言い返した。

「どうしてよ？」

「だって、吉井さんの指のことをいきなり尋ねて」

「店長さんだってそうだったよ」

「俺は仕事ですから。一応は訊いておく必要があったわけ」

「でも……そういうことはね」

「はあ」

「どうなのかな……と思うよ、私」

徳江の反応の意味がわからず、千太郎は顔を上げた。

「見て見ないふりというのは、まあ、大人の態度だけど。それがいいのか、それとも、ちゃんと訊いてあげるのがいいのか」

「まあ、難題ですね」

「ワカナちゃんは前から気付いていたもの。私の指のこと。私、知ってるもの。あの子、親しくなったつもりで訊いたのよ」

「そうですか」

「だから、あの子をつかまえて、^⑥そういう言い方はやめて」

「なんだ。俺の方が怒られるんですね」

徳江がそこで笑ったので、千太郎は少し楽になった。

「吉井さん、子供好きですね。俺はもう集団で来られるとちよつと……」

「私ね……昔、学校の先生になりたかったのよ」

「小学校の？」

「それもいいけど……中学校の国語の先生になりたかった。私、勉強したかったのよ」

「まあ、戦争のあとで、^⑦日本が貧しい時代だったでしょうから」

千太郎は反射的に、徳江が言葉を置ける場所を先回りして作ってやろうとしていた。

「私のうちだけじゃなくて、みんな貧しかったよ」

「国語の先生？」

「繕うように千太郎は重ねて訊いた。

「私、詩が好きだったの。ハイネとか、北原白秋とか、兄の部屋にあった詩集を小さい頃から読んでいたの」

「へー、吉井さん。そういう人だったんですか？」

「活字の向こうを想像するしか楽しみがない時代だったのよ。私、想像することが好きだったのね。だから、店長さんが作家を志望していたと聞いた時はびっくりした」

「昔の話です」

「でも、昔の夢って、まだ残ってない？ 私、もう今回の人生ではあんな可愛い子供たちと話ができるようになるとは思ってなかったの。だから嬉しい」

「可愛いって、あいつらがですか？」

「そうよ。先生にはなれなかったけれど、その何十分の一かを今楽しめているような気がするの。あの子たちと会わせてくれて、どうもありがとうね」

「やめて下さいよ。こっちが助けてもらってるんですから」

千太郎は鉄板の焦げをタワシでこすりながら、ワカナちゃん、そろそろ顔を出してくれよ、と願った。

(ドリアン助川『あん』より)

(注)

*咀嚼……食物をかみくだくこと。

問1 傍線部①「千太郎はいい気がしなかった」とはどういうことですか、その説明として最も適当なものを次の中から

一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 生活にゆとりがない子だからといって無料でどら焼きを与えるのはおかしいと思ったということ。
- イ ふだん店では出さないあんやクリームを入れたどら焼きを作るのはやめてほしいと思ったということ。
- ウ 焼きそこないの生地で変わり種のどら焼きを作り無料でふるまうのは望ましくないと思ったということ。
- エ 打ち解けて話す中高生だけにあんやクリームをサービスするのは不公平だと思ったということ。
- オ 焼きそこねたら焼きを変わり種だと言ってサービスするのは衛生上よくないと思ったということ。

問2 傍線部②「それを言ってしまった」とありますが、どのようなことについて「言ってしまった」のか、二十字以内で説明しなさい。

問3 傍線部③「表情が固まった」とは、どのようなようすを表していますか、その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 病気をしていた頃のことをしみじみと懐かしむようす。
- イ 思いがけない質問に驚いて言葉が見つからないようす。
- ウ つらい過去を思い出してしまい悲しみに沈んでいるようす。
- エ 個人的なことをさぐられて不快に思っているようす。
- オ 隠しておきたい部分に触れられて緊張しているようす。

問4 傍線部④「その咀嚼の音だけが、徳江とワカナちゃんの間を行ったり来たりしているように千太郎には感じられた」

とありますが、千太郎はどういうことを感じ取っているのですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 徳江がワカナちゃんの質問にはつきりと答えず、ワカナちゃんも詳しく訊こうとしなかったことで会話がなくなっ
てしまい、互いに黙っているのを気まずく感じていること。

イ 徳江がワカナちゃんの質問を無視し、ワカナちゃんの期待が外れてしまったことで二人が不仲になりつつあるが、
千太郎も口を挟むことができず、三人とも途方に暮れていること。

ウ 徳江がワカナちゃんの質問について不快感をあらわにしている、ワカナちゃんも徳江を傷つけたことを後悔して
いるが、互いに謝ることができずに意地を張っていること。

エ 徳江がワカナちゃんの質問をやんわりとかわし、ワカナちゃんはめげることなく質問を重ねたが、応じてもらえ
ないのですねてしまっているのを徳江が受け流していること。

オ 徳江がワカナちゃんの質問に激しく取り乱し、ワカナちゃんは徳江を落ち着かせることができずに黙ったことで
静かになってしまい、音が本来より大きく聞こえるような気がする。

問5 傍線部⑤「洗い物をしながら、徳江は客の中高生たちのことをよく話した」とありますが、徳江の話からうかがえることとして当てはまらないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 客の中高生たちの顔を一人ひとり覚えていて、その様子の変化までよく見ている。
- イ 客の中高生たちの様子をよく見ていて、持ち物や服装から家庭の状況を推察している。
- ウ 客の中高生たちの会話を、自分の若い頃のことと重ね合わせて聞いている。
- エ 客の中高生たちが話してくれる内容から、現代の社会のあり方に思いをはせている。
- オ 客の中高生たちが抱える家庭や交友関係の悩みに、優しく耳をかたむけている。

問6 傍線部⑥「そういう言い方」が指す内容を、本文中から五字以内で抜き出しなさい。

問7 傍線部⑦「日本が貧しい時代だったでしょうから」とありますが、千太郎がこのように言った理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 徳江が中学校の先生になりたかったのに勉強ができなかったのは、徳江の家庭環境のせいだと気づいたが、それを徳江が自分から言わなければならぬのはかわいそうだと思ったから。

イ 徳江が中学校の先生になろうとしてなれなかったのは、女子が進学することが一般的ではない時代のせいだと思っ
たが、戦争のせいにして気づかないふりをしてあげようとしたから。

ウ 徳江が中学校の先生になれなかったことを気の毒に思い、徳江を教師として採用しなかった日本の国は文化的に未熟な国だったのだと伝えることで、慰めてあげたかったから。

エ 徳江が中学校の先生になるのをあきらめたのは、徳江が話したがらない病気のせいかもしれないという考えが頭をよぎり、とっさに別の理由を用意してあげようとしたから。

オ 徳江が中学校の先生になるのが叶わなかった理由をはつきりと自分に言う必要はないと思い、適当に話を合わせるために、思いつくままに出まかせを言っておこうと考えたから。

問8 傍線部⑧「あの子たちと会わせてくれて、どうもありがとうね」とありますが、なぜ徳江はお礼を述べたのか、七十字以内で説明しなさい。

問9 傍線部⑨「ワカナちゃん、そろそろ顔を出してくれよ、と願った」とありますが、その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 徳江に感謝されて照れるとともに、ワカナちゃんが顔を見せれば徳江も喜んでくれるはずだと考えたから。
- イ ワカナちゃんがしばらく姿を見せないあいだ、ゆとりのない生活がどうなったのが気がかりだったから。
- ウ 徳江に指のことを尋ねたワカナちゃんを失礼な子だと決めつけたのが申し訳なく、謝りたいと思ったから。
- エ ワカナちゃんの顔が見られないことでさみしい思いをしている徳江と、早く仲直りをしてほしかったから。
- オ 失礼な質問のことで徳江は怒っておらず、ワカナちゃんが謝れば許してくれるはずだと伝えたかったから。

問10 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 千太郎は店の中で徳江がやることに対して、いつでも絶対的な信頼を寄せている。
- イ ワカナちゃんは徳江の指の異変に気がつく、すぐにどうしたのかを尋ねた。
- ウ 徳江はワカナちゃんのことを、指の話をして以後も変わることなく気にかけている。
- エ 千太郎はかつて作家を志望しており、今でもそのときの夢を追い続けている。
- オ 徳江は若い頃つらい病気をしたが、その経験を若い人に伝えようと考えている。

三 次の傍線部のカタカナを漢字に書き改めなさい。

- ① 国のソ^ンボウにかかわる大事件。
- ② 国民のシ^ジが得られない。
- ③ 原因をキ^ユウメイせよ。
- ④ 反対多数でヒ^ケツされた。
- ⑤ すべてを君にユ^ダねる。
- ⑥ 日本にコ^ユウの生物。
- ⑦ 彼はシ^ョウソクを絶った。
- ⑧ センレンされた技術の持ち主。
- ⑨ 成功するのはシ^ナンのわざだ。
- ⑩ 公園の中をサン^サクする。



2022A1

↓ここにシールを貼ってください↓

国語 解答用紙

受験番号					
名前					

問3 問2 問1 二

問4			
問5			

問9 問6 問5 問2 問1 一

問7				問3	A
				X	B
問8					C
				Y	D
				問4	

三

⑩	⑦	④	①
⑧	⑤	②	
⑨	⑥	③	

問9

問10							

問8

問6

問7